



水と共に生きるまち

～佐賀の挑戦～



新たな価値を生む発想の転換

佐賀市長 坂井英隆

# 佐賀市の概要

## ○面積

431.84 km

## ○人口

225,802人  
(R7.4現在)

## ○環境

- ・豊かな清流と温泉を育む脊振山系
- ・クリークが縦横に巡る佐賀平野で農地と街が調和した「水網都市」
- ・日本一の干満差と豊富な栄養塩で織りなす宝の海「有明海」

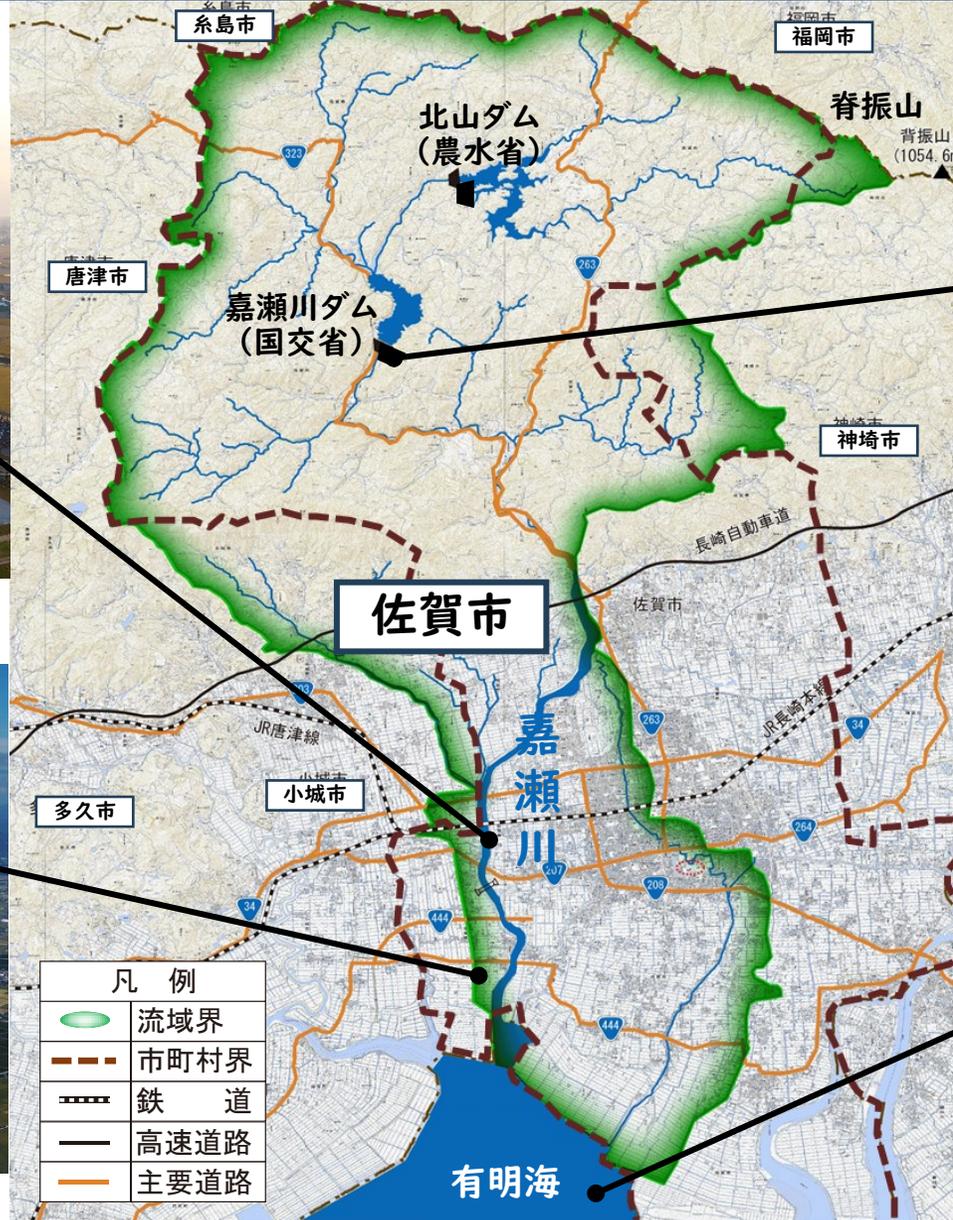


# 佐賀市と嘉瀬川

嘉瀬川高水敷の利用  
(佐賀国際バルーンフェスタ)



佐賀の低平地を流れる嘉瀬川  
(水路網やクreek網)



嘉瀬川ダム (富士しゃくなげ湖)  
～ダム本体下流より上流を望む～



嘉瀬川など多くの河川が流入する有明海  
(ノリ養殖場)



# 佐賀市と嘉瀬川

## 佐賀国際バルーンフェスタ

今年も開催 10/30(木)~11/3(月・祝)



- ✓ アジア最大級の国際大会!!
- ✓ 世界選手権を3度開催!!
- ✓ 国内外100機超の熱気球!!
- ✓ 5日間で来場者80万人超!!
- ✓ とにかく熱気球と人が近い!!

etc.



# 嘉瀬川ダムの概要

所管:国土交通省  
管理開始:平成24年度

嘉瀬川ダム  
(富士しゃくなげ湖)

堤頂長456m

高さ  
99m

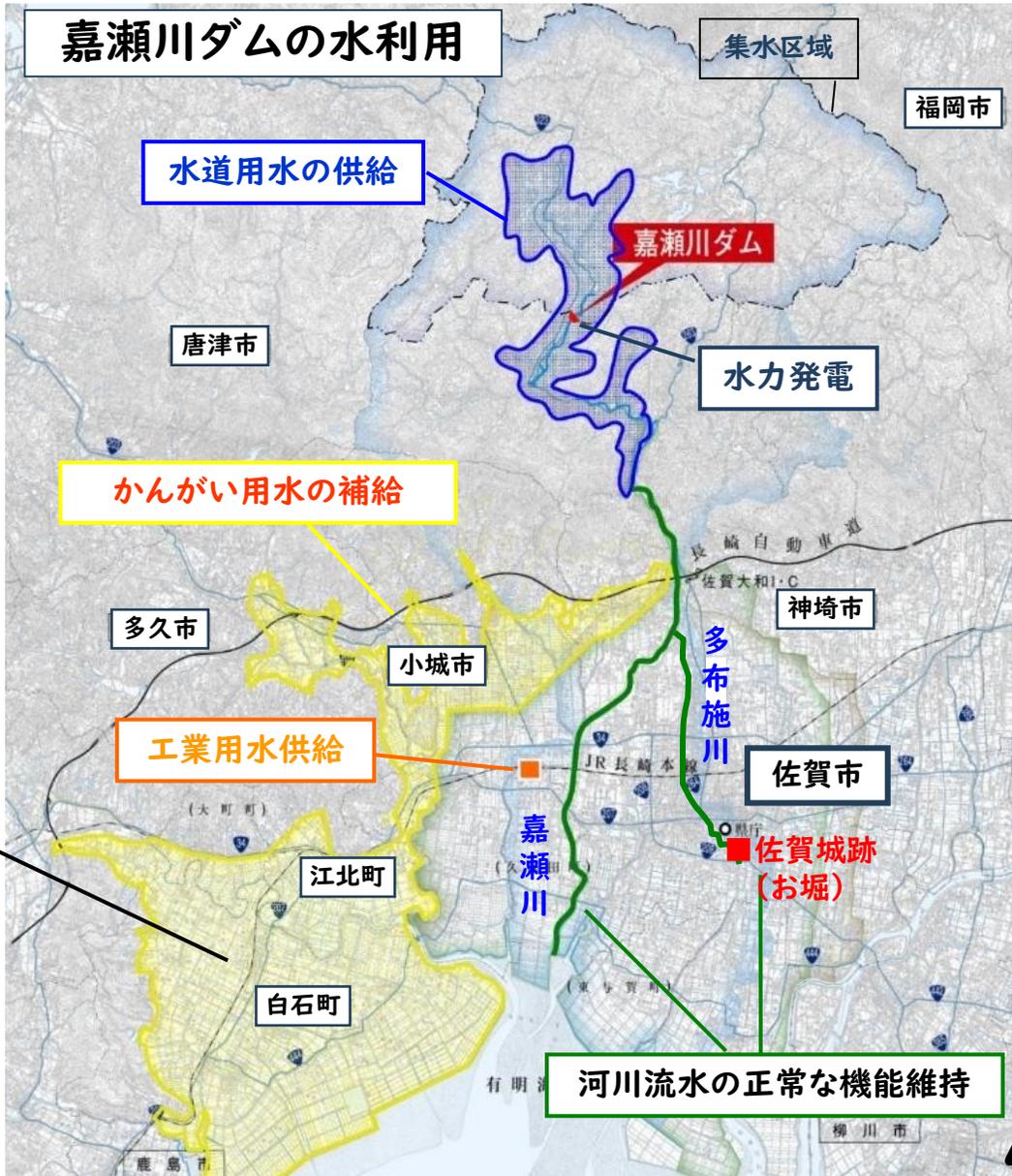
洪水調節容量: 1,750万 $m^3$   
利水容量: 5,050万 $m^3$   
堆砂容量: 300万 $m^3$   
総貯水容量: 7,100万 $m^3$

嘉瀬川発電所(九電)  
(最大出力2,800kw)



イメージキャラクター  
「びっきょん」

## 嘉瀬川ダムの水利用



佐賀市街地(河川維持流量の補給)



白石平野(かんがい用水の補給)



# 嘉瀬川ダム周辺の魅力

**立地も**  
“ハッピー”



パークゴルフ

嘉瀬川ダムまで何分?

佐賀大和  
インターチェンジ

約 20分  
(約15km)

嘉瀬川ダム

オートキャンプや湖面利用



佐賀駅

約 33分  
(約21km)

嘉瀬川ダム

福岡市内  
中心部

約 80分  
(約40km)

嘉瀬川ダム

ダムまわりは  
楽しいが  
いっぱい!



ダムの駅富士



その魅力に「+1 (プラスワン)」

かわまちづくり支援制度を活用し、  
水上競技場を新たに整備 (R4.5オープン)

佐賀市富士しゃくなげ湖水上競技場



# +1の魅力が国スポ・全障スポで開花

「佐賀市富士しゃくなげ湖 水上競技場」を整備



競技コース



管理棟



艇庫

(ボート・カヌー120艇収納可能)

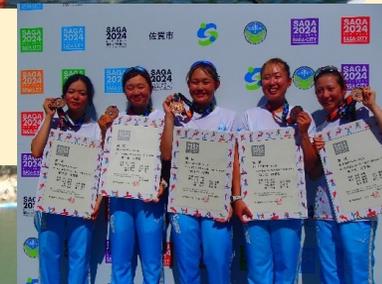


リギング広場

SAGA2024 国スポ・全障スポ  
～ ボート・カヌー競技 ～



1万2千人超の方が  
嘉瀬川ダムに



# さらなる魅力+（プラス）に向けて

ボート・カヌー競技施設を核として、スポーツ振興や地域振興！



地域や国と  
さらに連携し  
魅力を拡大!!



レジャーなど、多目的な用途の利活用も促進！



# 水とともに暮らすまち

## 佐賀平野の治水・利水

干拓によって広がった低平地のため、古くから「水害」と「水不足」が宿命

「水の神様・成富兵庫茂安」の400年前の治績が、現代の治水・利水システムに息づいている



高水敷と水害防備林



# 水とともに暮らすまち

## 「川を愛する週間」8万人超参加／毎年

昭和56年から続く、年2回（春・秋）行う市民総出の河川清掃



市民自ら胴長を着て水路に入り、除草や泥上げなどを行う



多布施川水遊び場



クリークマルシェ



カヌーで巡る佐賀のまち

出典：森川海人プロジェクト HP

出典：MITZBERING HP

# 流域治水の取組を前へ

## 近年の浸水状況

### 佐賀駅周辺



### 市街地



## 佐賀市排水対策 基本計画の見直し

### 流域治水

対策効果の最大化  
×  
浸水被害の最小化

関係者との  
連携強化

既存施設の  
有効活用

「流す」「溜める」  
の対策をより前進

クリークの事前排水



事前排水ポケット

田んぼダム



佐賀城お濠の活用



# 「田んぼダム」と「クリークの事前排水」

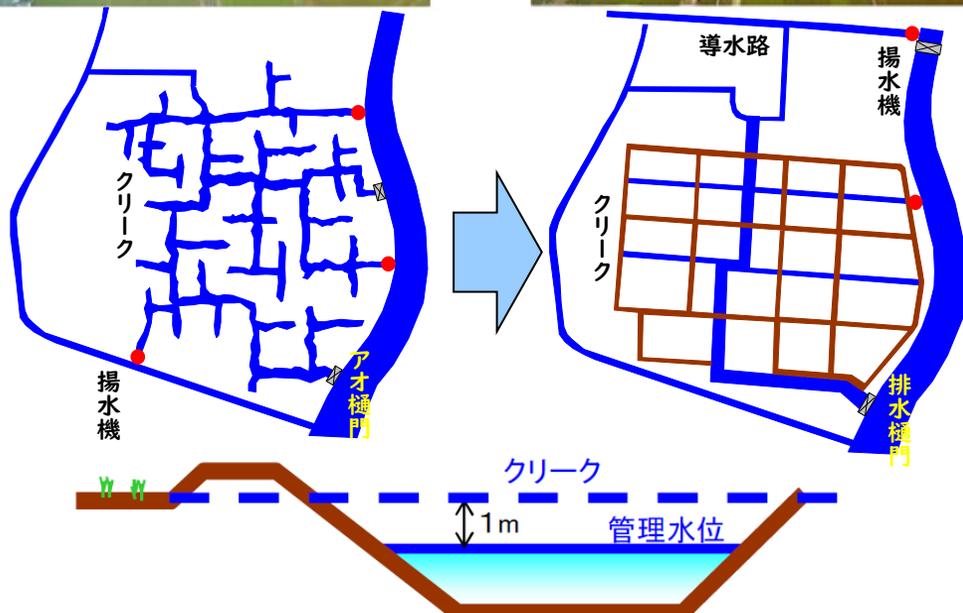
溜める

## 佐賀平野のクリーク

〈圃場整備前〉



〈現在〉



田面よりクリークの水位を下げることで排水機能を有する

田んぼダム

【貯留容量 約39万トン】



大雨時に水路への水の流出を抑制し田んぼがダムの役割!

クリークの事前排水

【貯留容量 約350万トン(実施水路)】



# 「佐賀城お濠の活用」

溜める

令和5年の出水期から、お濠の水位を事前に下げた状態で管理（既存施設を有効活用）し、

## 市中心部の 浸水被害軽減 につなげています



全国初!  
お濠貯留

- ・お濠の水の **自然排水**
- ・北濠の活用

- ・農業用水の利用者等との調整
- ・低水位での管理  
(水位の落ちづらさへの対応)

最大 **58,000 トン** (25mプール190杯以上)

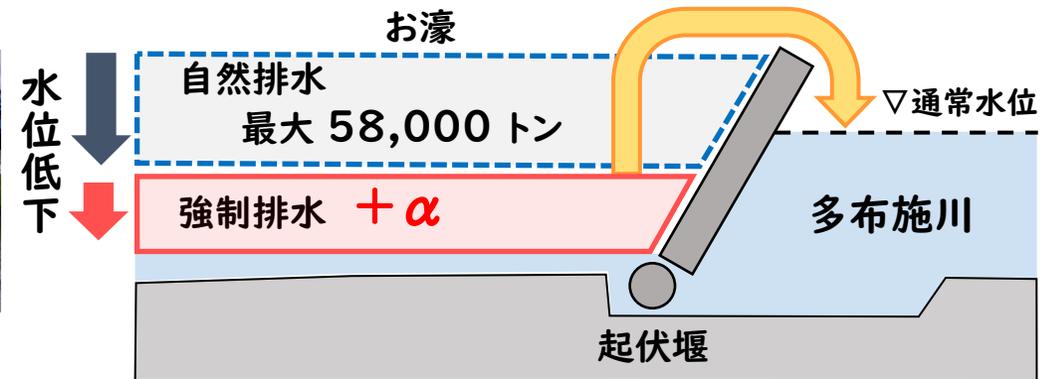
県市連携  
流域治水

実証試験 **さらなる水位低下が機動的に可能かを検証します!**

排水ポンプ車による **強制排水 58,000 トン +  $\alpha$**



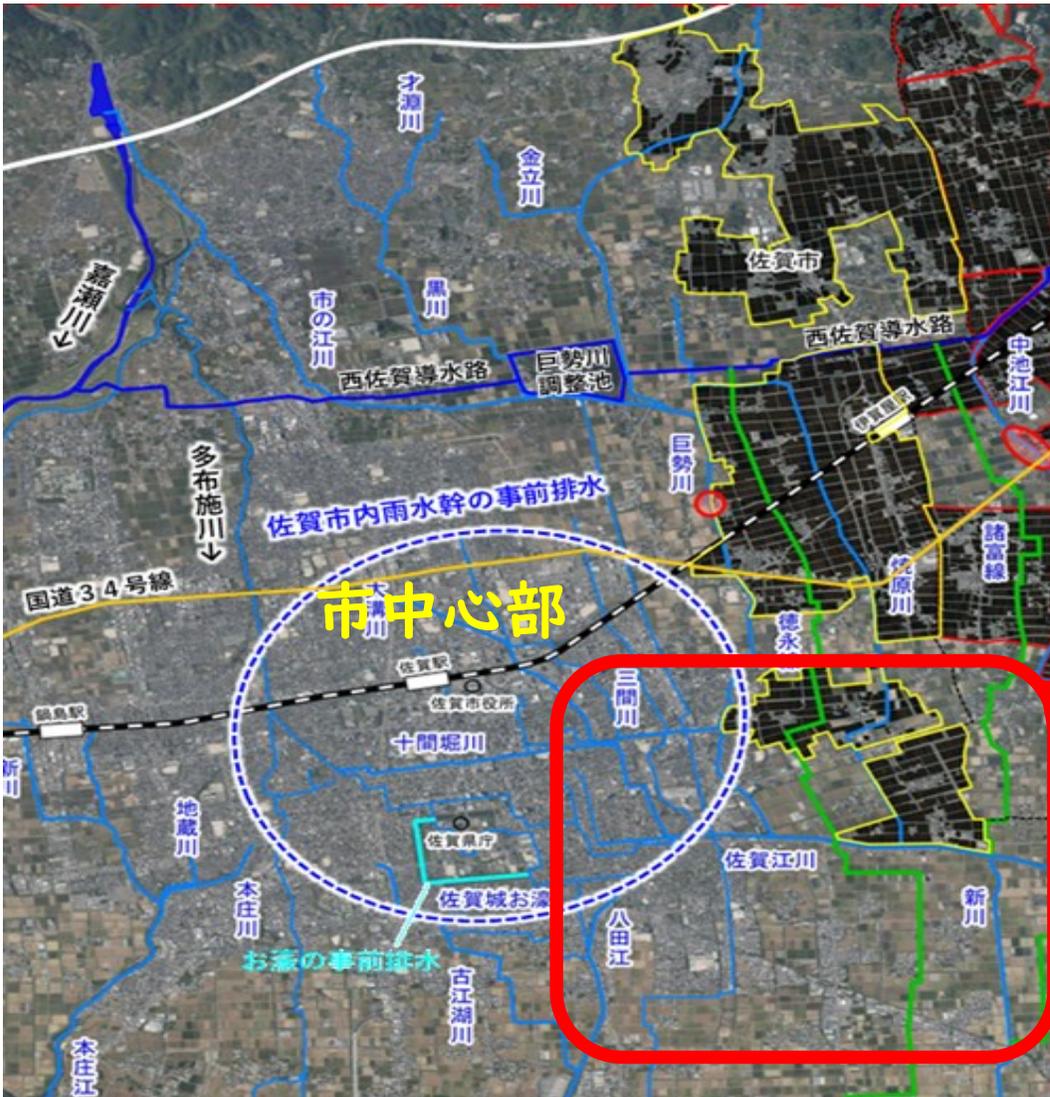
県排水ポンプ車  
「ひので」



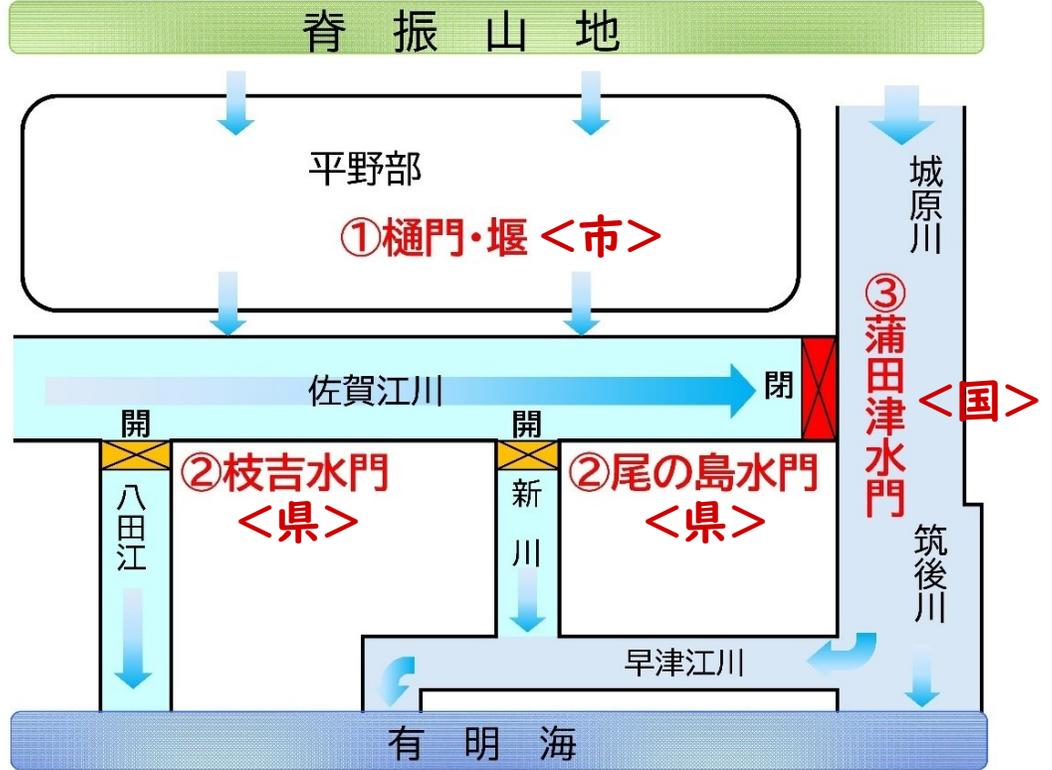
# 「水門の連携操作」

流す

溜める



佐賀江川の排水系統 (国・県・市が連携)



貯留容量 **50万トン以上**

# 抱える課題と今後の展望

## 抱える課題

- ✓ 通年で水辺でのイベント等を開催するには、街なかの水が少ない
- ✓ 事前排水した後に降雨がない場合、農業用水の充水に時間がかかる など

課題解決や水を活かすまちづくりのカギは、  
流域全体・あらゆる関係者で考え、動く、

## 「流域総合水管理」

